

地域の魅力

受け継がれる桑折プライド 「献上桃の郷 桑折町」 町づくりへの情熱を紡いだ 地方創生への取り組み



高橋 宣博
桑折町長

● 桑折町の概要

桑折町は、福島県の中通り北部に位置し、産ヶ沢川の清流と緑豊かな半田山の自然の恵みを受けた人口約11,000人の町です。

古くは仙台伊達氏の発祥の地、日本三大鉱山のひとつと数えられた半田銀山、奥州・羽州街道の分岐点（追分）にある宿場町、養蚕業地帯などとして栄え、明治時代には伊達郡の行政・経済の中心を担うべく旧伊達郡役所が置かれるなど、先人たちによって築き上げられた歴史的資源が数多く残されています。

また、果樹栽培が盛んで、桃・りんご・柿などおいしい果物の産地として知られ、全国的に有名なりんご「王林」は桑折町が発祥の地です。さらに桑折町産桃「あかつき」は、平成6年以降、毎年皇室への献上品として選ばれるほど高品質な桃として、多くの人に愛されています。

交通網においては、東京から東北新幹線と東北本線を乗り継いで約100分程度の距離にあり、また、仙台市とも近く、電車や自動車でも1時間程度と大変アクセスが良い立地です。さらに、令和3年に相馬福島道路が全線開通し、



こおり桃源郷



あかつき

伊達桑折インターチェンジの利用も開始されたことで、東北縦貫自動車道や東北中央自動車道へのアクセスが強化され、人流の活性化が図られています。

● 歴史を活かしたまちづくり

伊達氏発祥の地として知られる桑折町。その歴史を紐解くと、源頼朝の奥州攻めに従った常陸入道念西が、その戦功により伊達郡の地頭となって入部し、伊達氏（伊達朝宗）を名乗り、その後、勢力を拡大。これが戦国大名伊達氏の興りです。伊達政宗はこれより17代目にあたります。

初代朝宗の墓所や伊達政宗の曾祖父14代植宗が築いた桑折西山城跡も現存しており、このような歴史的資源の保存と活用を図るため、令和3年には、第28回全国山城サミット桑折大会を開催し、貴重な歴史的遺産・桑折西山城を全国にPRしました。その後、「桑折西山城を守る会」が発足され、さらなる保存と活用が推し進められています。

また、昨年、明治16年（1883年）に建てられ、伊達郡の行政・経済の中心機能を長きにわたり担ってきた国指定重要文化財・旧伊達郡役所が、開庁140周年を迎えました。「明治時代を体感しよう」をテーマに「旧伊達郡



第28回全国山城サミット桑折大会



旧伊達郡役所・誕生祭 タイムスリップフェスタ2023

役所・誕生祭 タイムスリップフェスタ2023」を開き、先人たちが築き上げてきた歴史の誇りと、これから新たな時代を切り拓いていく桑折町の力強さを町内外へPRしました。

そして、今年は、実業家・五代友厚が半田銀山の採掘事業に着手してから150周年を迎えるにあたり、記念事業を予定しています。

今後も、魅力ある地域資源を次世代へ継承していくとともに、最大限の活用を図りながら、地域の賑わいを創出していきます。

● 生産者の情熱が生んだ献上桃

「献上桃の郷」桑折町は、誰もが認める高品質な桃の産地です。生産されているさまざまな品種の中でも「あかつき」は、平成6年以降連続で皇室に献上されている逸品です。かつて、養蚕業が盛んだっころから、探求心と向上心を併せ持つ生産者が多く、全国に先駆けて、桃の糖度を可視化できる光センサー選果機を導入。さらに、減農薬栽培にも取り組み、安全安心な桃づくりに努めてきました。こうした生産者の努力が実を結び、平成28年には「献上桃の郷」の商標登録が認められ、昨年には、献上桃30周年を迎えることができました。

町内では、毎年7月上旬頃から9月下旬に

かけて、およそ20種類もの桃が市場に並びます。この時期は、全国各地から桃の注文が殺到し、直売所は連日早朝から長蛇の列ができるほど賑わいます。昨年は、直売所の売り上げが過去最高となり、これまで実施してきた仙台・首都圏へ向けてのPRの成果が実を結んだものと捉え、着実に「献上桃の郷」ブランドが確立されてきていると感じています。

近年では、特産の桃を1年中楽しんでもらおうと、6次化商品の開発にも力を入れています。「至福の桃」シリーズとして、ソルベ、グミ、こんにゃくゼリー、キャンディを大手企業や地元企業と共同開発し、テレビでも取り上げられるほど人気商品となっています。



令和5年度献上桃選果・箱詰式

● 21世紀の追分 伊達桑折 IC 周辺土地利活用

令和3年4月に相馬福島道路が全線開通し、桑折ジャンクションで東北縦貫自動車と接続したことは、21世紀の追分として捉えています。かつて、奥州・羽州街道の分岐点（追分）にある宿場町として栄えたように、地元特産物の販路拡大や広域観光周遊ルート形成による交流人口の増加など、多面的な経済活性化が大いに期待されています。また、伊達桑折インターチェンジ周辺においては、物流倉庫業

などの優良な企業誘致に努めています。町では、この契機を逃さず、人・モノが交わる重要な拠点となるよう引き続き各種施策に取り組んでいく予定です。



伊達桑折インターチェンジ周辺

● 「住み続けたいまち 住みたいまち こおり」を目指して

桑折町は、大手民間住宅メーカーによる「住み続けたい街ランキング2023〈福島県版〉」で、2年連続1位、東北版でも5位にランクインしました。このような高い評価を得たことは、これまで町民の皆さまとともに進めてきた「桑折ならではの」取り組みの成果であります。かつて、先人たちがこの地に伊達郡役所を誘致し、新しい時代を築いていこうとした気概、すなわち「桑折プライド」が町民の心に脈々と受け継がれ、その情熱が町の魅力に磨きをかける力となっていると感じています。新型コロナウイルス感染症が5類に移行された今日、歴史・文化・農産物・地理的要素を組み合わせながら町の魅力発信を積極的に行い、ここでしか味わえない、体験できない「桑折ならではの」施策を講じてまいります。そして、引き続き町民の皆さまや関係団体の皆さまとともに、「住み続けたいまち 住みたいまち こおり」の実現に向けて努めてまいります。